

かがやき通信

肺がんの診療体制が 拡充しました！

呼吸器外科の常勤医師が
3名増員となりました。
より充実した医療を
ご提供いたします。



通院治療センターの様子



胸腔鏡下手術



気管支鏡での検査



放射線治療 ※実際には照射部位の衣服を脱いだ状態で行います

当院の肺がん診療 ～早期発見から治療まで～

肺がんのいま

呼吸器内科 月野 光博

日本で最も死亡数の多いがんの一つであり、毎年多くの方が新たに診断されています。主な危険因子は喫煙ですが、非喫煙者でも発症することがあり、高齢化に伴い患者数は増加傾向にあります。一方で、診断技術や治療法の進歩により、早期発見・早期治療ができれば高い治療効果が期待できるようになっています。

定期的な肺がん検診が重要

肺がんは初期には自覚症状がほとんどないため、定期的な肺がん検診が非常に重要です。特に喫煙歴のある方や高齢の方は、症状がなくても検診を受けることをお勧めします。

彦根市立病院では、検診で異常が認められて受診された患者さんに胸部CT検査を行い、肺がんが疑われた場合には、超音波内視鏡を用いた気管支鏡検査やCTガイド下肺生検、または外科的肺生検などの精密検査を迅速に行い、正確な診断を実施しています。

地域の皆さまが安心して診療を受けられる環境を整え、肺がんの早期発見と質の高い治療の提供を通じて、地域医療に貢献してまいります。

肺がんは『早く見つけて、自分に合った治療を選ぶ』時代 ～一人ひとりに合った治療～



呼吸器内科・外科の医師総勢8名が治療にあたります

彦根市立病院では、遺伝子変異や免疫の状態を詳しく調べて、患者さんごとに最適な治療法を選択しています。また、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科、緩和ケア内科の医師、薬剤師、看護師など多職種が連携し、一人ひとりの病状や希望に応じた最適な肺がん治療を提供しています。

当院では、①～⑥すべての治療が行えます

① 手術

早期肺がんに対して最も高い治癒率が期待できる治療法です。がんの広がりや患者さんの肺機能を考慮しながら、肺の一部または肺葉を切除します。近年は胸腔鏡を用いた低侵襲手術も普及し、術後の痛みや身体への負担を軽減できるようになっています。

② 放射線治療

高エネルギーの放射線ががん病巣に照射して治療する方法です。手術が困難な患者さんに対する根治治療として行われるほか、骨転移による痛みや気道狭窄などの症状緩和にも有効です。身体への負担が比較的少ないことが特徴です。

③ 抗がん剤治療

がん細胞の増殖を抑える薬剤を用いる全身治療です。進行肺がんや再発肺がんの治療において重要な役割を担っています。近年は副作用を軽減する支持療法も進歩し、患者さんの生活の質に配慮しながら治療を継続できるようになっています。

④ 分子標的薬

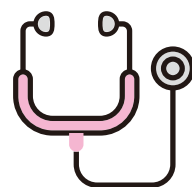
がん細胞が持つ特定の遺伝子変異や異常なたんぱく質を標的として作用する治療薬です。肺がんの一部では、遺伝子検査によって効果が期待できる薬を選ぶことができ、高い治療効果が期待できます。当院では、患者さんごとに遺伝子検査を行い、最適な治療選択につなげています。

⑤ 免疫療法

患者さん自身の免疫機能を活性化してがんを攻撃する治療法です。免疫チェックポイント阻害薬の登場により、進行肺がんの治療成績は大きく向上しました。適切な患者さんでは長期間にわたり病状をコントロールできる可能性があります。

⑥ 緩和ケア

痛みや息苦しさ、不安などの身体的・精神的苦痛を和らげる医療です。がんと診断された早い段階から治療と並行して行うことで、患者さんご家族が安心して療養生活を送れるよう支援します。



当院での肺がん外科治療について

～呼吸器外科の医師が充実、手術も可能になりました～

呼吸器外科 花岡 淳



身体への負担が少ない胸腔鏡下手術

肺がんの手術というと、「胸を大きく開く」「痛みが強い」といったイメージを持たれる方もいるかもしれませんが。しかし現在は、胸腔鏡下手術をはじめとする低侵襲手術が広く普及しており、患者さんの身体への負担は以前に比べて大きく軽減されています。

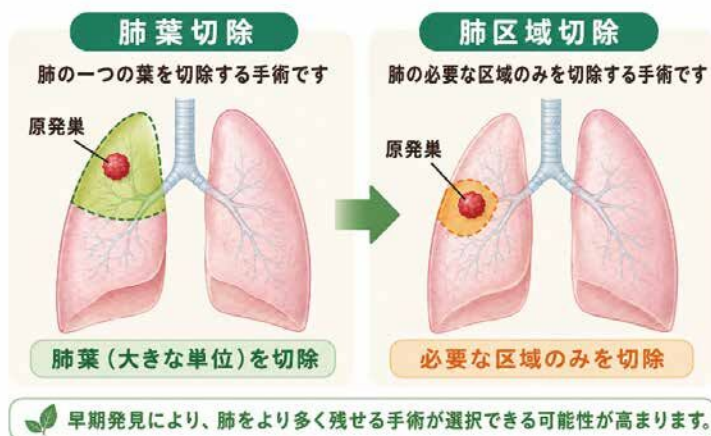
小さな傷で手術を行うことで、術後の痛みを抑え、早期の回復や社会復帰につなげるこ

とが可能になっています。また、小さな肺がんに対しては、肺葉切除だけでなく区域切除や部分切除といった縮小手術が選択できる場合があります。肺をできるだけ残すことで肺機能の温存につながり、術後の生活の質の維持も期待できます。

呼吸器外科では、胸腔鏡下手術を中心とした低侵襲治療を積極的に行うとともに、肺がんの大きさや位置、患者さんの年齢や肺機能、併存疾患などを総合的に評価し、治療方針を検討しています。すべての患者さんに同じ治療を行うのではなく、「しっかり治すこと」と「その後の生活を守ること」の両立を大切にしています。

また、呼吸器内科や放射線科などとも密接に連携しながら、患者さんの病状や希望に応じた治療を提供しています。

早期発見により、肺をできるだけ残す手術が選択できる場合があります。



私たちは病気を治すことだけでなく、その後の生活も見据えながら、一人ひとりに寄り添った医療を心がけています。

健康診断や肺がん検診で異常を指摘された際には、どうぞお気軽にご受診ください。

当院の受診方法について

■ 人間ドック・健康診断・がん検診で「精密検査が必要」と判定された方

人間ドック・健康診断・がん検診の結果、「精密検査が必要」と判定された方は、検診結果をご持参の上、午前8時～11時の間に来院ください。なお、この場合は、紹介状がなくても選定療養費はかかりません。

■ 健診をきっかけとした受診以外で、受診をご希望の方

まずはかかりつけ医をご受診ください。その上で必要な場合には、紹介状をご持参の上、当院を受診してください。



院内でのマスク着用のルールについて

※病院に来られる方はマスクをご持参ください



マスクの着用をお願いするエリア

- ✓ 診察室・検査室
- ✓ 救急・外来治療室・相談室
- ✓ 入院患者の病室（8階B病棟を除く）



マスクの着用は個人の判断とするエリア

- ✓ 外来待合室・全館の通路
- ✓ 8階B病棟（緩和ケア病棟）
- ✓ 医療スタッフと対面のない状況



※感染症流行時および、有症状者（咳・くしゃみ・鼻水・発熱などがある方）の院内への立ち入りの際は、【咳エチケット】のため、引き続きマスク着用にご協力ください

ご寄附のお願い

彦根市立病院では、地域の安定した医療を守るため、広く寄附を募集しております。

《インターネットからのご寄附》

下記のURLまたは2次元コードよりお申込みください。
後日、ご入金の方法等のご案内をいたします。

URL : <https://www.municipal-hp.hikone.shiga.jp/jform/kifu.html>



《窓口でのご寄附》

3階事務局にて、所定の「寄附申出書」をご記入いただき、ご持参いただいた寄附金をお預かりします。
お振込みをご希望の場合は、郵便局にてお使いいただける振込取扱票をご用意いたします。

※振込手数料は当院負担

《寄附に関する問い合わせ先》

彦根市立病院 3階 事務局 企画経理課
TEL 0749-22-6050(代) FAX 0749-26-0754

寄附についての案内パンフレットをご用意しております。ご関心・ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

住みなれた地域で健康をささえ、安心とぬくもりのある病院

HPはこちら



彦根市立病院

彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882

TEL. 0749-22-6050(代)

FAX. 0749-26-0754

HP. <https://www.municipal-hp.hikone.shiga.jp>

かがやき通信
バックナンバーは
こちら



交通のご案内 ●名神彦根インターから車で約20分 ●JR南彦根駅からバスで約10分「市立病院前」下車すぐ ●JR彦根駅からバスで約20分「市立病院前」下車すぐ

外来受診時のご注意

当院初診時には、地域の医療機関からの紹介状が必要となります。
また、地域の医療機関より予約をとっていただくと診療や検査がスムーズにできます。
※証明書や診断書の申込み、受取は、平日8時30分～16時に各診療科受付にお越しください。

●紹介状がない場合は、選定療養費がかかります。●整形外科・脳神経外科・脳神経内科・心療内科（予約制）・歯科口腔外科（予約制）については必ず紹介状をご持参ください。●病状が安定した後は、地域の医療機関への紹介を行っています。

※この「かがやき通信」は55,300部制作し、1部あたりの単価は5円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

ご理解・
ご協力を!

院内
節電
実施中